

川澄さん、無投票当選

茨城町議選 11/26告示



町議選第一声で決意を訴える川澄敬子候補

茨城町議選が26日告示（12月1日投票）され、川澄敬子候補が2期目をめざして選挙事務所前で元気に第一声をあげ、必勝の決意を表しました。70人近い方が支援に駆け付け、日本共産党の大内くみ子県副委員長や江尻かな県議、梅村さえ子前衆院議員が激励の挨拶を行いました。

選挙戦は、定数16に対して17人が立候補しましたが、夕方になって1人が取り下げたため、川澄候補は無投票当選となりました。選挙前からは、町民の願いにそって実績や公約を示して攻勢的に活動を進めてきた結果です。

第一声で川澄候補は「共産党が継続して求めてきたデマンド型乗合タクシーが来月から運行されることになりました。子どもの医療費補助も高校卒業まで拡充できました。月3千円もかかるスクールバスの無料化をめざします」とのべました。

そのうえで「東海第二原発を廃炉にして、原発のない安全な社会をつくりましょう」と訴えました。

夕方、街頭宣伝から戻ってきた川澄候補は、事務所

かわすみ けいこ 日本共産党
川澄敬子



原発ゼロ・東海第2廃炉
平和憲法を守ります

●1953年茨城県生まれ ●国立大戸第二高校卒業 ●茨城大学教育学部 ●学芸会賞受賞歴として数回 ●茨城県立大学初等教育学系中級主任学芸員 ●茨城県立総合研究開発センター 庶務課長 ●茨城県立総合研究開発センター 2015年町議選で初当選。現在1期目 ●選挙区は北七郷 ●茨城町小幡在住

公営掲示板に張られた候補者ポスター



川澄候補（右）を激励する（左から）大内副委員長、江尻県議、磯部光雄さん、梅村さえ子前衆院議員（11月26日）

で当選の結果をうけて、「よせられた願いや、かかげた政策の実現をめざしてしっかりと働きます」と決意をのべました。

これからの4年間の活動にたいし、引き続きご支援をいただけますようお願い申し上げます。

ご意見やご要望をお寄せください。

公約実現にがんばります

なくそう原発
まもろう憲法

国保税・介護保険料・水道代の負担軽減

スクールバスの無料化と運行改善

災害に備えた避難体制・被災者支援の拡充